

Chapter 1

学内のコンピューター (GCS26マシン)を利用するには

本章では、学内のコンピューター(GCS26マシン)の特徴、使い方等について説明します。GCS26マシン及びその環境は学習院独自のものですので、新任の方や非常勤講師、客員教授の方など、GCS26マシンにまだ慣れていない、あまりGCS26マシンをお使いにならないという方は、ぜひ一度本章をお読みください。また、GCS26マシンをお使いの上で、パスワードを変更したい、ソフトウェアのインストールをしたいという方も、本章をご覧ください。

※本書に記載の画面は、実際の画面と一部異なる場合がございます。

1.1. 学内のコンピューターについて

1.1.1. GCS26マシン, GCS26環境とは

GCS26のGCSとは、「Gakushuin Computer System」の略称です。2026年度に一括導入したコンピューターを「GCS26マシン」と呼びます。「Microsoft Windows 11 Education」というOS(オペレーティングシステム)を使用しており、ネットワークに接続して専用のアカウントでサインインすることで利用できます。そのため、市販のコンピューターとは異なる、以下のような特徴があります。

- 共通のソフトウェアがインストールされている
- サインイン時に各ユーザー固有の情報をサーバーから読み込む
- デスクトップ、マイドキュメント等のフォルダーがネットワーク上で管理されている

⇒ 学内の、どのコンピューターを利用しても同じ環境が提供される

学内のどのマシンを利用しても同じ環境でコンピューターを利用するには、GCS26マシンというコンピューターに、「1.2. アカウントについて」に記載のアカウントでサインインする必要があります(各学部学科、研究室、部署等の単位で個別に導入したコンピューターではGCS26環境は利用できません)。GCS26マシンについての詳細は、「1.1.2. GCS26マシンの種類」をご覧ください。

GCS26マシンでは、ホームページ公開設定など、学習院での研究・教育に役立つ独自のソフトウェアも使用できます。また、教員が学生へファイルを配布するためのSドライブ、複数の教職員でファイルを共有する共有フォルダーを使用することもできます(別途、利用申請が必要)。このような、学習院独自のコンピューターシステムを総称して「GCS26環境」と呼びます。

GCS26 環境はネットワークに接続したままで、利用します。

- ネットワークに接続されていない場合は、サインインできません。

また、途中でネットワークがオフラインになると以下の症状が発生します。

- デスクトップのアイコンが非表示
- ファイルがなくなる

なお、次回のサイン時に不具合が発生する可能性があります。

1.1.2. GCS26マシンの種類

主なGCS26マシンには以下の3機種があります。また、個々のコンピューターには固有の管理番号が割り当てられています。コンピューターの管理番号は、ノートPCであれば左上、デスクトップPCであれば正面または上面、一体型PCであれば台座左または正面の右下に貼られているシールに記載されています。GCS26マシンに関してICTサポートにお問い合わせの際は、この管理番号をお知らせください。



1.2. アカウントについて

GCS26マシンでサインインするなど、GCS26環境を利用するためには、アカウント(ユーザー)発行が必要です。常勤の教職員や非常勤講師は着任時に、学生は入学時に自動的にアカウントを発行しています。それ以外でアカウントが必要な方は、ご自身で申請をして取得します。申請はICTサポートで受け付けています。

1.2.1. アカウントの種類

GCS26環境を利用するためのアカウントには、次の4種類があります。いずれのアカウントでも、すべてのGCS26マシンでサインインすることができます。

(1) 個人用アカウント

学習院の教職員を対象に発行するアカウントで、ユーザー名は教職員番号と同じです。例えば教職員番号が“20269999”ならば、ユーザー名も同じく“20269999”となります。ご自身の教職員番号については、人事課(内線2301)へお問い合わせください。もしくは、教職員番号は給与明細書にも明記されていますので、そちらでご確認ください。アカウント発行を行うと、在職中、継続的にアカウントを使用できます。なお、常勤の教職員と非常勤講師には個人用アカウントが自動的に発行されるので、利用申請をする必要はございません。

(2) 組織用アカウント

個人単位ではなく、例えば「〇〇事務室」といった組織に対して発行されるアカウントです。

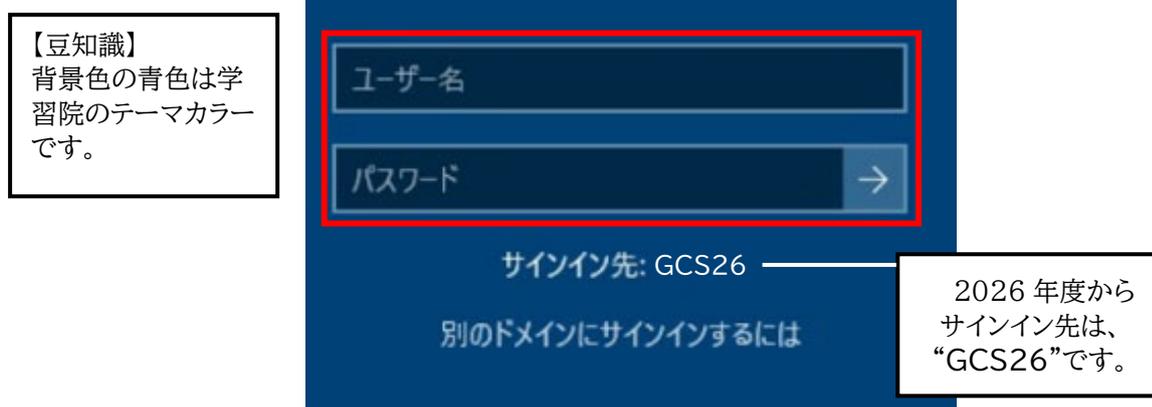
(3) 学生用アカウント

学生に対して発行されるアカウントです。学生用アカウントのユーザー名は、学籍番号と同じです。

入学時に自動的に発行され、卒業まで有効です。アカウントの利用にあたり、学内ネットワーク利用規約(<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/cc/service/network-usage-policy.html>) の遵守が必須です。

1.3. GCS26マシンでのサインインについて

コンピューターの電源を入れしばらくすると、ユーザー認証の画面が表示されます。アカウントのユーザー名とパスワードを入力し、[Enter]キーを押すか、→をクリックします。



サインインできない場合、表示されたエラーメッセージを確認してください。エラーメッセージに応じた、考えられる原因と対処法は次の通りです。

エラーメッセージ	考えられる原因、対処法
ユーザー名かパスワードが正しくありません。入力し直してください。	ユーザー名またはパスワードの入力を間違えている可能性があります。ユーザー名もしくはパスワードが正しいかどうか、もう一度ご確認ください。パスワードは大文字と小文字が区別されます。「Num Lock」(数字ロック)や「Caps Lock」(大文字ロック)がオンになっていないか確認してください。
ドメインが利用できないため、この資格情報ではサインインできません。デバイスが組織のネットワークに接続されていることを確認し、やり直してください。このデバイスで、別の資格情報を使用して最近ログインした場合は、その資格情報を使ってログインすることができます。	有線ネットワークに接続されていない可能性があります。ノートパソコンでも、原則、有線ネットワークに接続している必要があります。Wi-Fiで使用する場合はICTサポートまでご相談ください。 LANケーブルを挿し直し、ネットワーク機器(HUB等)が正常に動作しているかを確認してください。 GCS26マシンを再起動すると、エラーが解消することもあります。

1.4. パスワードについて

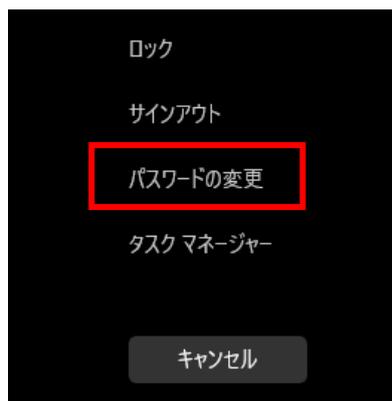
1.4.1. パスワードの変更の仕方

アカウントのパスワード変更は、GCS26マシンでサインインしていると簡単に変更することができます。このパスワードは学内のサービス(G-Portなど)と共通です。

1.4.1.(a) 学内のGCS26マシンでの操作

GCS26マシンでは、Windows PCの標準の手順で変更します。手順は以下の通りです。

- (1) パスワードを変更したいユーザー名でサインインします。
※admin26(ローカルPCの管理者)のパスワードを変更したい場合は、“.¥admin26”でサインインします。“.\admin26”と表示される場合もあります。
- (2) [Ctrl + Alt + Delete]キーを押し、[パスワードの変更]をクリックします。



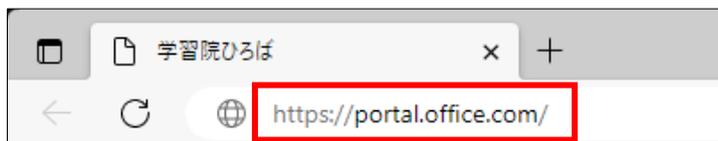
- (3) 「古いパスワード」欄に、“現在のパスワード”を入力します。
- (4) 「新しいパスワード」欄に、“今後使用する新しいパスワード”を入力します。🔄を押すことで、入力した文字を表示します。入力間違いがないか、今一度確認してください。
- (5) 「パスワードの確認入力」欄に、(4)の手順で入力したものと同一の新しいパスワードを入力します。
- (6) →をクリックします。
- (7) 「パスワードは変更されました」とメッセージが表示されますので[OK]をクリックします。

1.4.1.(b) 学外や学内のGCS26マシン以外での操作

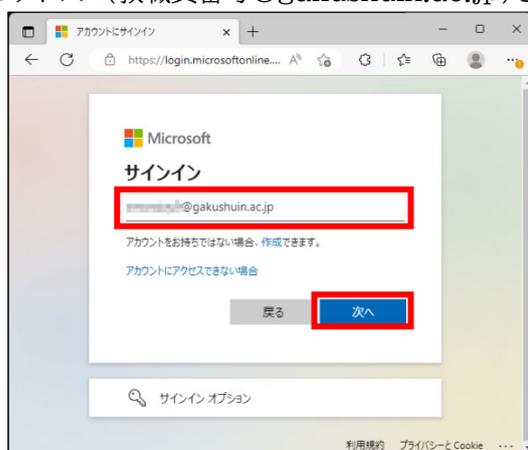
学外や、学内のGCS26マシン以外からパスワードを変更するには、Microsoft 365の環境を利用します。手順は以下の通りです。

(1) Microsoft 365にサインインします。

ブラウザを起動して、” https://portal.office.com “にアクセスします。



(2) 学習院のメールアドレス(教職員番号@gakushuin.ac.jp)を入力して [次へ]をクリックします。



(3) パスワードを入力して[サインイン]をクリックします。



(4) 「詳細情報が必要」画面が表示されますので、[次へ]をクリックします。



(5) 「Microsoft Authenticatorのインストール」画面が表示されます。

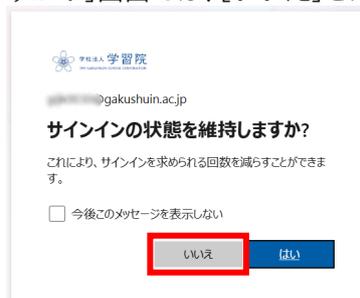
セキュリティを強化するために、スマホ用アプリ「Microsoft Authenticator」をインストールし、指示に従って登録することをお勧めしますが、

パスワードの変更だけでしたら「セットアップをスキップします」も可能です。

- この機能を有効にすると、パスワードを忘れた際にオンラインで即時変更が可能になります。(通常の事務手続きで行くと通常1週間程度の日にかが必要で、その間は学習院のサービスにサインインできません。)
- 追加で個人の情報(携帯電話番号や学習院院外のメールアドレス)も設定しておく、Microsoft Authenticatorが無い場合でも安心して使えます。

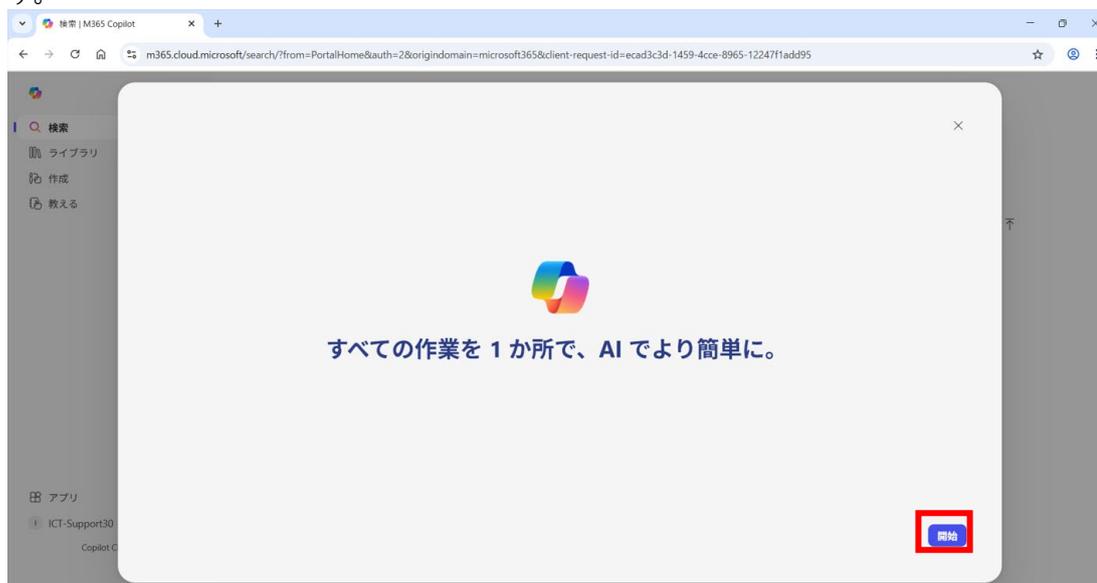


(6) 「サインインの状態を維持しますか?」画面では、[いいえ]をクリックします。



1. 学内のコンピューター(GCS26マシン)を利用するには

- (7) 初めてサインインする場合はMicrosoft 365の紹介画面が表示されるので、[開始]をクリックします。

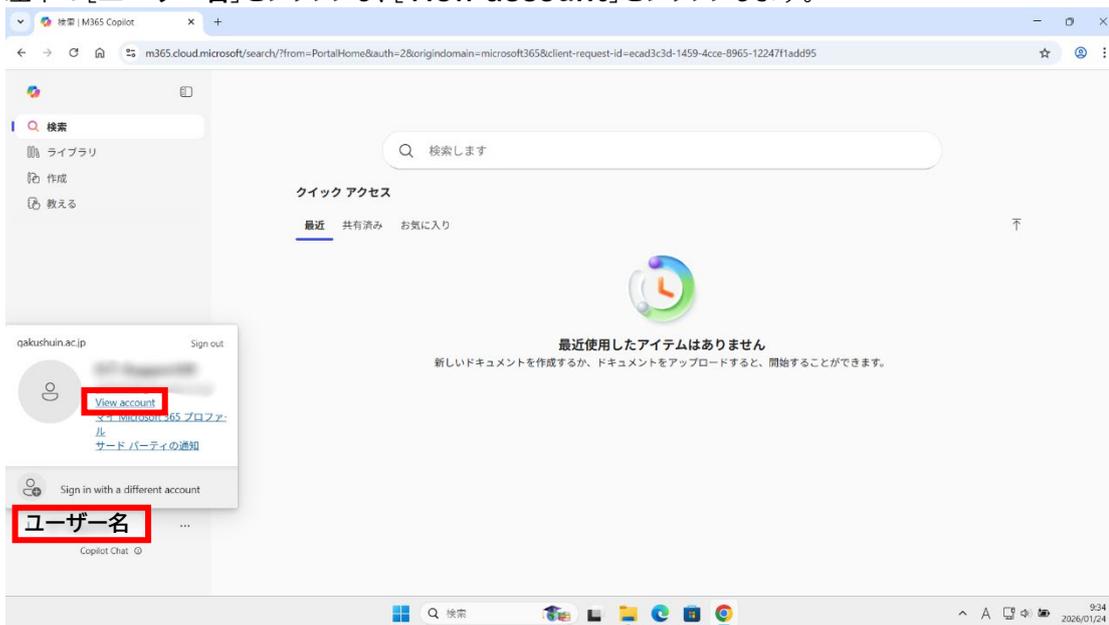


- (8) サインインに成功すると、Microsoft 365のホーム画面が表示されます。



1.学内のコンピューター(GCS26マシン)を利用するには

(9) 左下の[ユーザー名]をクリックし、[View account]をクリックします。

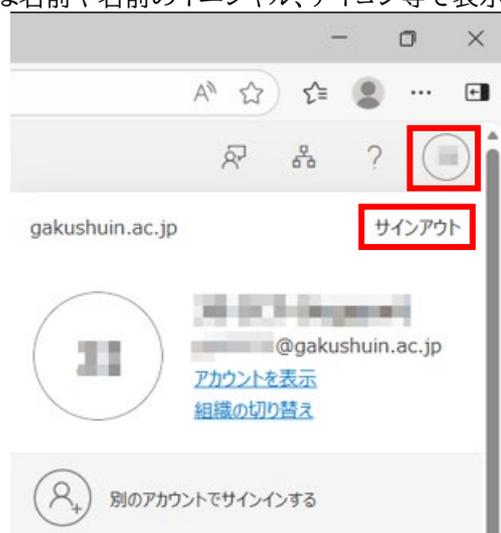


(10) [パスワードの変更]をクリックします。



- (11) パスワード変更の画面に遷移します。「現在のパスワード」欄に現在のパスワード、「新しいパスワード」欄と「新しいパスワードの確認入力」欄に新しいパスワードを入力して、[送信]をクリックします。この手順で、パスワードが変更されます。

- (12) 変更し終わったら、サインアウトします。
右上の[アカウントマネージャー]をクリックし、[サインアウト]をクリックします。アカウントマネージャーのボタンは名前や名前のイニシャル、アイコン等で表示されます。



- (13) 再度Microsoft 365にサインインしたり、学習院のシステム(G-Portなど)にログインしてパスワードの変更が正常にできているか、ご確認ください。

1.4.2. パスワードを忘れた場合

ICTサポートでパスワードを調べることはできません。パスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを再設定する必要がありますので、「パスワード設定願」に必要事項を記入のうえ、ICTサポートまでご提出ください。再設定したパスワードが発行されるまで、1週間ほどかかります。具体的な手続きは、「12.3. パスワード設定願」をご覧ください。

また、管理者アカウント(admin26)のパスワードを忘れてしまった場合は、GCS26マシン本体のリカバリー(初期化)をする必要があります。詳しくはICTサポートまでお問い合わせください。

1.5. GCS26マシンのドライブ構成について

1.5.1. ドライブ構成を確認する

GCS26マシンでは、ローカルディスク(C:, D:)のほかに、いくつかのネットワークドライブが利用できるようになっています。また、必要に応じて外付けハードディスクドライブやUSBメモリ等が利用できます。外付けハードディスクドライブやUSBメモリ等を接続すると、それらのドライブレター(データの保存領域を識別するためのアルファベットの符号)は自動的に(E:)以降が割り当てられます。

なお、GCS26マシンにはDVDドライブが内蔵されていません。必要な場合はご自身で外付けDVDドライブをご用意いただく必要があります。また、一時的な利用であればICTサポートの貸出用の外付けDVDドライブをご利用ください。詳細は、ICTサポートまでお問い合わせください。

画面下の[エクスプローラー]アイコンをクリックするとエクスプローラーが起動し、フォルダーやファイルが並んだ画面が表示されます。この画面で、ドライブ構成を確認できます([スタート]アイコンを右クリックして[エクスプローラー]を選択や、[Windows + E]キーを押しても同様に、エクスプローラーを起動できます)。



1.5.2. ドライブの詳細

GCS26マシンのドライブ構成は、以下の表のようになっています。この表にはICTサポートに申請しなければ利用できない(表示されない)ドライブも含まれています。各ドライブには利用できる容量に制限があります。下記で紹介しているmyweb(M:), myhome(Z:)などは、それぞれ2GB程度を目安にご利用ください。

【各ドライブの一覧】

種類	ドライブ レター	名 前	用 途
デバイスとドライブ	C:	ローカル ディスク	Cドライブは、GCS26マシンに内蔵されているSSDドライブです。このドライブには、Windowsが動作するために必要なファイルが入っています。このドライブの内容をむやみに変更・削除すると、そのコンピューターが正常に動作しなくなります。
	D:	ローカル ディスク	DドライブはCドライブと同様、GCS26マシンに内蔵されているSSDドライブです。初期状態ではソフトウェア等何もインストールされていないので、使用者が自由に使うことが可能な領域となっています。ただし、Dドライブに保存したファイルは、他のGCS26マシンでサインインした場合には使用できません。他のコンピューターでも使用するファイルは、後述するZドライブに保存してください。また使用者が複数いるGCS26マシンでは、使用者全員がDドライブに保存されたファイルの閲覧、編集、削除等が可能なため注意が必要です。
ネットワークの場所	M:	myweb	Mドライブは、個人のホームページ領域として用意されているネットワークドライブです。インターネットに公開したいファイルをここに保存します。詳細は「7. ホームページを公開するには」をご覧ください。
	N:	bin0\$	Nドライブは、GCS26環境に共通のプログラムが保存されたシステム領域です。各ユーザーは、このドライブに保存されているプログラムを自由に利用できます。ただし、各ユーザーのデータを保存することはできません。
	S:	学校名など (univ など)	Sドライブは、授業を受けている学生に配布したいファイル等を置いておくためのネットワークドライブで、自らが担当するすべての授業で利用することができます。ICTサポートに申請することで利用できるようになります。申請をすると、Sドライブの中に申請者の名前のフォルダーが作成されます。教員は自分の名前のフォルダー内にあるファイルの読み書き・保存ができますが、学生がSドライブにファイルを置いたり、書き換えたりすることはできません。学生はSドライブのファイルを、自分のZドライブやUSBメモリ等に保存して使用することになります。詳細は「8.1. 教員が学生に対して資料配布や情報提示を行うには」をご覧ください。
	T: U: V:	(各部署名など)	これらのドライブは、教職員の方がICTサポートに「共有フォルダー」の利用申請をすることで、利用できるようになります。「共有フォルダー」とは、登録したグループの利用者だけで利用できるネットワーク上のフォルダー(ドライブ)です。登録された利用者ほどのGCS26マシンからでもアクセスできます。「共有フォルダー」の利用申請をしていない場合、これらのドライブは表示されません。
	Z:	myhome	Zドライブは、個人のファイル保存領域として用意されたネットワークドライブです。GCS26マシンでサインインした際に表示される「ドキュメント」や「デスクトップ」に保存したファイルのほか、メールの送受信したデータなども保存されています。また、Cドライブと同様にGCS26環境が正常に動作するために必要なファイルも入っていますので、このドライブの内容をむやみに変更・削除すると、GCS26マシンを正常に使用しなくなる可能性があります。

1.6. セキュリティーソフト Cybereason

GCS26マシンには、セキュリティーソフト「Cybereason」が導入されています。このソフトウェアは、絶対に削除しないでください。また、他のセキュリティーソフトをインストールすると動作が遅くなったり、最悪GCS26マシンが起動しなくなったりすることがありますので、他のセキュリティーソフトはインストールしないようにしてください。

Cybereasonは、タスク バー内に  のアイコンで常駐しています。

Cybereasonは、不正なソフトウェア、怪しいファイルを自動で削除します。

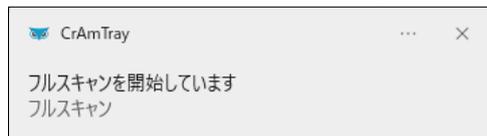
1.6.1. Cybereasonによるコンピューター内のファイルのスキャン方法

コンピューター内のファイルを確認する方法を示します。

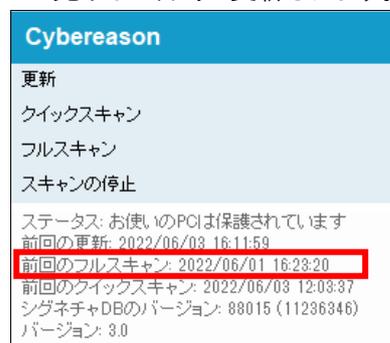
- (1) タスク バーのCybereasonのアイコン  を右クリックするとメニューが表示されます。



- (2) コンピューター内のファイルを確認するには[フルスキャン]をクリックします。フルスキャンが開始されると「フルスキャンを開始しています」というメッセージが表示されます。



フルスキャン中は、メニューに「スキャンの停止」の項目が増えます。フルスキャンが完了すると「前回のフルスキャン」欄がフルスキャンが完了した日時に更新されます。



- (3) 怪しいファイルが見つかった場合は警告が表示されます。見つからなかった場合は、特に、メッセージの表示はありません。

1.7. ソフトウェアについて

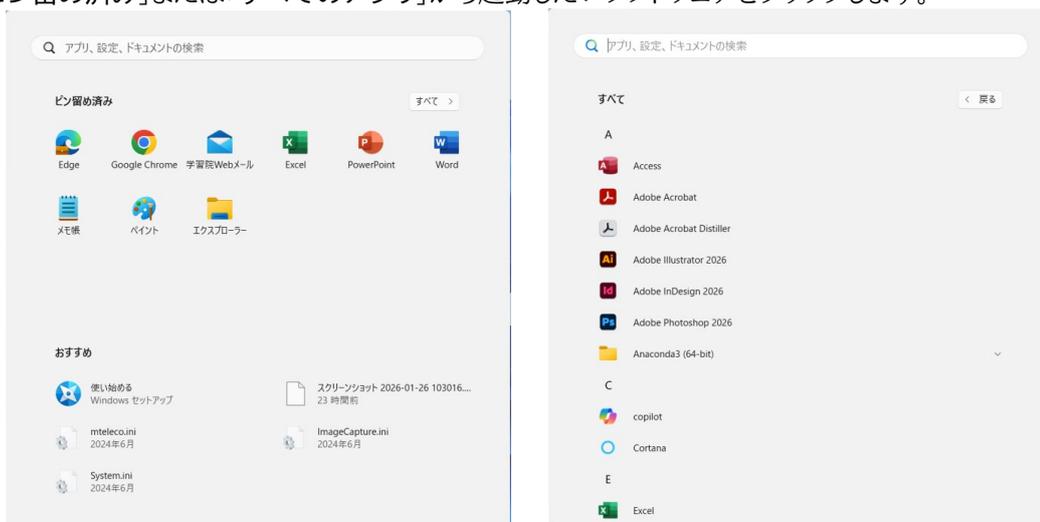
GCS26マシンには、いくつかのソフトウェアがあらかじめインストールされています。また、必要なソフトウェアを追加でインストールすることも可能です。以下では、インストールされているソフトウェアの起動方法や種類、新しいソフトウェアをインストールする方法を説明します。

1.7.1. ソフトウェアを起動するには

ソフトウェアを起動するには、スタートアイコンから[すべて]をクリックしてアプリの一覧を表示させて選択する方法、または「検索」欄にアプリ名を入力して選択する方法があります。

① スタートアイコンから[すべて]をクリックしてアプリの一覧を表示させて選択する方法

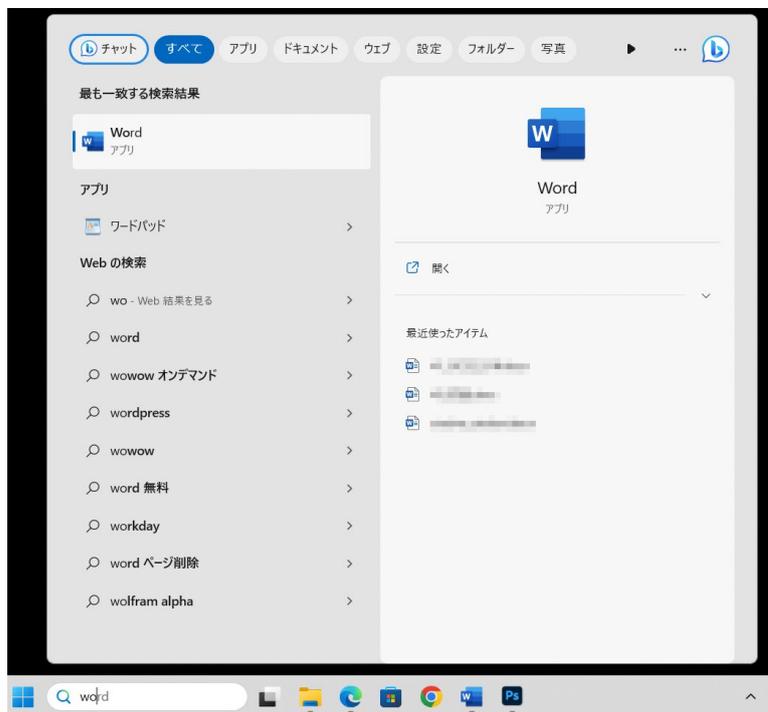
- (1) デスクトップ画面下の[スタート]アイコンをクリックします。
- (2) スタートにピン留めされたアプリは、「ピン留め済み」に表示されます。それ以外のアプリは、右上の[すべて]をクリックすることで表示できます。インストールしたソフトウェアによっては、表示されないものもあります。
- (3) 「ピン留め済み」または「すべてのアプリ」から起動したいソフトウェアをクリックします。



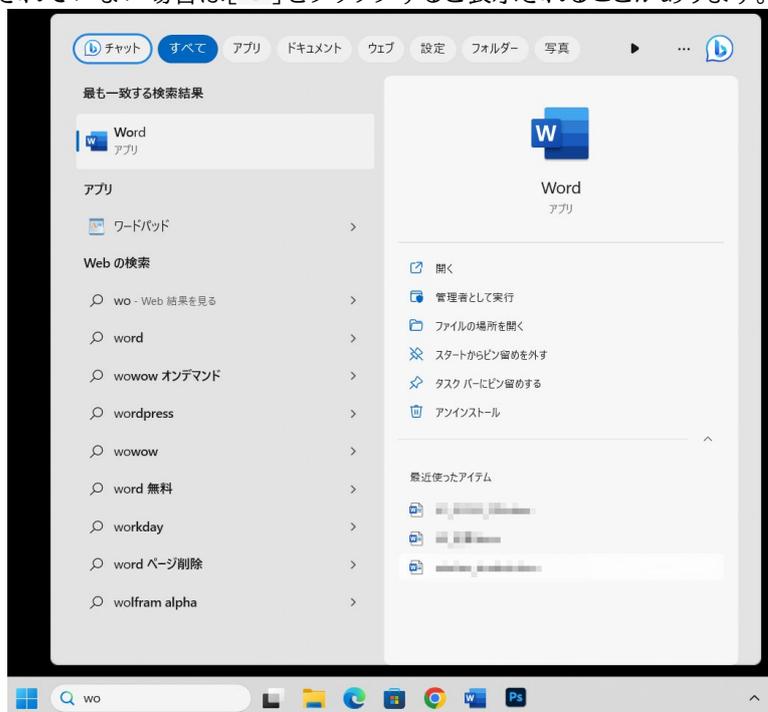
※GCS26環境のPCは、違うPCを利用するとピン止めがリセットされる場合があります。

②「検索」欄にアプリ名を入力し選択する方法

- (1) タスク バー(デスクトップ画面下)の「検索」欄 にアプリ名を入力します。
(アプリ名は自動補完されます。)



- (2) [開く]をクリックします。管理者で開く場合は[管理者として実行]をクリックします。「管理者として実行」が、表示されていない場合は[▽]をクリックすると表示されることがあります。



1.7.2. インストール済みのソフトウェアについて

これまでの利用状況を踏まえ、GCS26マシンには一般的なソフトウェアは予めインストールされています。

1.7.2.(a) 一般的なソフトウェア

Microsoft Edge 

Webページを閲覧するためのソフトウェア(Webブラウザ)です。

Google Chrome 

Webページを閲覧するためのソフトウェア(Webブラウザ)です。

Microsoft Office LTSC 2024

Microsoft Office 2024は、統合型ビジネスソフトウェアのパッケージです。Word, Excel, PowerPoint, Accessなどが利用できます。

※“LTSC”は、“Long-Term Servicing Channel”の略で長期サポート製品になります。

Microsoft Word 

ワープロソフトといわれる、文書を作成するためのソフトウェアです。レポート、手紙等の文書作成やその印刷を行います。

Microsoft Excel 

表計算ソフトといわれる、数値データを集計・分析するためのソフトウェアです。表計算やグラフの作成、データベース作成を行います。

Microsoft PowerPoint 

プレゼンテーションソフトといわれる、発表、会議等で提示する資料を作成・表示するためのソフトウェアです。

Microsoft Access 

データベース管理ソフトといわれる、データベース構築のためのソフトウェアです。

Adobe Creative Cloud

Adobe Creative Cloud は、Adobe社の様々なアプリケーションやサービスを統合したクラウド型制作環境です。InDesignやPremiere Proなど、その他のAdobe Creative Cloudのソフトウェアもインストールして利用することが可能です。

Adobe Acrobat Pro

PDFファイルを作成・編集・閲覧するためのソフトウェアです。

Adobe Illustrator CC

ドローソフトといわれる、イラストや広告、ロゴなど様々なデザイン制作のためのソフトウェアです。

Adobe Photoshop CC

フォトタッチソフトといわれる、デジカメやスキャナで取り込んだ画像を加工するソフトウェアです。画像の色や大きさの修正、画像合成、イラストの描画等ができます。

1.7.2.(b) GCS26ユーティリティ ソフトウェア

ホームページ公開設定

GCS26マシンのMドライブに置いたHTMLファイルを、Web上に公開するためのツールです。詳しい使い方は「7.2. ホームページ公開設定について」をご覧ください。

7-Zip File Manager(圧縮解凍ツール)

ファイル・フォルダーを圧縮、または圧縮ファイルを展開(解凍)するソフトウェアです。展開したいファイルがある際は、7-Zipを起動して、開いたウィンドウに展開したい圧縮ファイルをドラッグ&ドロップします。また、解凍したい圧縮ファイルがある際は、圧縮ファイルを選択して、ウィンドウの「展開」をクリックします。

1.7.2.(c) その他のソフトウェア(Firefox・Thunderbird)

GCS26マシンでは、標準で Firefox・Thunderbird がインストールされていません。

各アプリをご利用になりたい方向けに、管理者アカウント(admin26)のデスクトップにインストーラが用意されています。



1.7.3. ソフトウェアをインストールするには

GCS26マシンにご自身でソフトウェアをインストールする場合、GCS26マシンのハードウェア構成やOS等がそのソフトウェアのシステム要件を満たしている必要があります。システム要件を満たしていないソフトウェアについては、正常な動作が保証されていないのでご注意ください。

通常、ソフトウェアベンダー(販売会社等)のホームページには製品情報、仕様、サポート情報等が掲載されていますので、導入を検討する際やインストール作業の前にご確認ください。

GCS26マシンにソフトウェアをインストールするには、Windows 11のセキュリティー仕様上、管理者権限が必要になります。ソフトウェアのインストールは、以下の2つの方法で行えます。

- (a) admin26でインストールする
- (b) 管理者権限のない個人のアカウントでインストールする

ただし、ソフトウェアによっては(a)の方法でしかインストールできないものもあります。また、複数のソフトウェアをひとつのパッケージとしてインストールする場合、繰り返し管理者権限の確認を求められることもあります。そのため、原則として(a)の方法でインストールすることをお勧めいたします。

1.7.3.(a) admin26でインストールする

admin26でサインインしている場合は、アカウント自体が管理者権限を持っているのでそのままインストールを行うことができます。

(1) 管理者(admin26)でのサインイン

GCS26マシンの電源を入れしばらくすると、以下のようなユーザー認証の画面が表示されます。「ユーザー名」欄には“**.¥admin26**”、「パスワード」欄にはadmin26のパスワードを入力します。このとき、「サインイン先」の項目が、使用しているGCS26マシンの管理番号になっていることを確認してください。そして  をクリックします。これで、admin26でのサインインは完了です。



(2) ソフトウェアのインストール

導入したいソフトウェアをインストールします。ソフトウェア添付のインストール説明書などを参考に作業を進めてください。

1.7.3.(b) 自身のアカウントでインストールする

ご自身のアカウントでサインインしている場合は、インストールの実行時に「ユーザーアカウント制御」(UAC)という機能が働きます。インストールの実行時に、管理者権限をもつアカウントのユーザー名とパスワードを以下のように入力することで、インストールを続行できます。

- (1) プログラムの実行やインストール・アップデートなど、コンピューターの変更に対する準備ができた場合に、以下のような「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。
- (2) (1)の際、もしも身に覚えのないプログラム名や不明なプログラム名が表示されている場合は、[いいえ]をクリックして終了してください。続行する場合は(3)に進みます。



- (3) 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウに、「ユーザー名」欄は“.¥admin26”、「パスワード」欄はadmin26のパスワードを入力して[はい]をクリックします。



(3)の認証が終わると、プログラムの実行が続行します。入力を間違えるなどで認証に失敗した場合は、ユーザー名とパスワードを確認の上、再度入力を行ってください。

※ネットワーク認証を問われた場合は、学習院のアカウント(教職員番号)とパスワードを入力してください。

1.7.4. ソフトウェアライセンスについて

個々のソフトウェアによりライセンス形態は異なります。ライセンスにおいて、使用台数を制限するものや、使用目的や使用環境を制限するものもあります(市販されている個人向けのソフトウェアの多くは、1つのパッケージにつき1台のコンピューターにのみインストールすることができます)。ソフトウェアをインストールする際は、インストール前に必ず当該のソフトウェアライセンスを確認の上、正しくご利用ください。ソフトウェアライセンスは、各ソフトウェアの使用許諾契約書をご覧になるか、ソフトウェアベンダーまでお問い合わせください。